

水と日本民族

図書館長 黄色 瑞華

先般、「辞書で、『水』の項目に当たってみる。『水入らず』『水に流す』『水ぬるむ』等々『水』にかかわる多くの語句に出会うはずだ。それを見て、日本国の地形や気候、そこに住する人々の生活、思想や感情を思うことで、アイデンティティの確立に向かうことが可能となろう。

アイデンティティの確立のために読むのではなく、読むことによって、アイデンティティの確立に向かうことが可能となるのだ。」と書いた。いささか不親切な書きようで、何人もの人から「よくわからない、もう少し詳しく。」と声があがった。

弥生時代以降、日本国の住民はおおむね「水田農耕^{なりわい}」を生業としてきた。それは南から西へ、そして東北へ、さらに東北から北へと進展、元来亜熱帯の植物たる稲、その収穫量において今や北海道が最大とまでなった。

国土の三分の二が山、降雨・降雪に恵まれ、それが森林を育て、川を生み、沃土を作りあげたのだった。人々は水を求め、やがて集落を形成して、共生社会の実現に向かった。種籾を神の所有とし、里長^{さとおき}が籾蔵を作り、その管理の責を負った。それを個々人の所有とすれば、飢えに耐えかねて食する者も出ただろう。また暴力によって強奪に走る者も出ただろう。一説に、神社の建築様式は籾蔵を原形とするとも言う。耕作のための用水もまた集落の共有として、「我田引水」の非を封じた。鋤入れ、籾蒔、田植等々一連の作業日程の統一化はそうした事情を背景に成ったのである。当然のごとく神事を含む年中行事もまたそういう背景のもとに営まれたのだった。人々はそういう社会に身を置き、順応することによって安住を得ていった。

同一、もしくは近似の神をいただき、自身が所属する集落の年中行事に参加することが、安全・安心の担保であり、それに背を向けることはかなわない。そこに厳しい制裁があったにしろ、年がかわって、「水ぬるむ」ころには、またもとの共同体の構成員として迎え入れられる。儒仏思想の影響が大きいことはいうまでもない。だが、それ以前にこの国には水田農耕の民族があったのだ。

砂漠の国に「水に流す」という語句は存在しない。当然、そのような思想・感情の存在も考えられない。もしあったとなれば、それは外来の思想や感情による。心静かに、自身の内なる世界に目をやることで、自分が確かにこの国に住する民族の血を引く、という認識に向かうことが可能となるのだ。

読書の合間にコーヒーを

皆さんコーヒーはお好きでしょうか。

夏に美味しかったアイスコーヒー。でもそろそろ水に代わって、湯気とともにただよう香ばしさが恋しい季節となってきました。

そこで今回は、コーヒーにまつわる雑誌／論文記事を、いくつか紹介しようと思います。



	《掲載雑誌》	《検索データベース》	所蔵場所
イチロー氏×スターバックス会長 H.シュルツ氏 常識に挑み 夢を掴む	日経ビジネス 2005/12/26号	日経BP記事 検索サービス (学内者のみ)	書庫 M3 階
世界のイチローと、世界のスタバが対談！			
アミーゴを泣かせない 川島 良彰 氏[日本サステイナブルコーヒー協会理事長]	日経ビジネス 2008/08/04号	日経BP記事 検索サービス (学内者のみ)	書庫 M3 階
生産者も消費者もアミーゴ(友達)			
コーヒー香気成分と官能検査データの統計的解析	日本農芸化学会誌 Vol.63 No.9 (1999年9月号)	Journal archive	書庫 4 階 製本雑誌
数学の公式がコーヒーを解析?!			
お茶やコーヒーはどのようにしてカフェインを 合成できるようになったのか	化学と生物 44 巻 10 号 (2006年10月号)	医中誌 web (学内者のみ) (閲覧は冊子体のみ)	書庫 4 階 製本雑誌
「嗜好品にも化学の「目」」			
コーヒーは百薬の長?			
薬とコーヒー(カフェイン)の相互作用 ～薬と食品の相互作用 栄養士に必要な薬の知識	臨床栄養 113 巻 7 号 (2008年12月号)	メディカルオンライン (学内者のみ)	書庫 4 階 製本雑誌 ※製本中

いかがでしょう。気になる記事はあったでしょうか？

雑誌の記事はデータベースを使って探すことができます。

データベースはこのような身近なものからレポート作成、研究のための文献調査にも幅広く活用できます。

各種データベースは図書館ホームページ (<http://libopac.josai.ac.jp>) のデータベースリンク集・国内データベース一覧よりアクセスできます。

自分の気になるキーワードで探してみたい…でも検索方法が分からないという方は、気軽に図書館員へお尋ね下さい。

《記載のデータベースを使って、
オンラインでも閲覧出来ます》

ちょっとフレイク コーヒーの淹れ方



中挽きの粉を平らに
(中央を軽く窪ませ) 入れる



粉全体に少量の湯を入れる
(粉がふくらんでくる)



中心から静かに湯をそそぐ
(「の」の字を描くように)



抽出完了

秋のガイダンス開催のお知らせ

いよいよ後期の授業の始まりです。

図書館では皆さんの学習支援計画の一環として、秋季ガイダンスの実施を計画しています。

内容は春のガイダンスで行った「図書館の基本的な利用方法」から一步踏み込んで、レポートの作成に役立つデータベースの利用方法や検索のノウハウについて行う予定です。

レポートは大学で初めて取り組む人も多いと思いますが、今までの勉強とはまったく異なったものとなる成績評価方法です。記述の基本さえ分かれば説得力を持って自分の意見を表現することが出来ますが、とすればただの読書感想文や文献からの丸写しにもなりかねません。

またデータベースは、普段使うことがほとんど無いという人も多いのではないのでしょうか？

データベースは皆さんの学業を支えていく上で強力なツールとなりうるものですが、見た目からして難しい、どう使ったらいいかわからないという方が多いのも事実です。

秋のガイダンスでは、城西大学で利用できる様々なデータベースについてもご案内いたします。

ガイダンスは授業だけでなく、個人やグループ、サークル等でも受付けております。

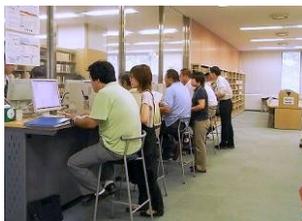
お申し込みは1階カウンターに直接申し込んでいただくか、

Eメール(library1@josai.ac.jp)、もしくは内線1152までご連絡ください。



8月5日に行われた教員免許更新講習の一講義「先端技術と数学/西沢清子先生(理学部数学科)」の「数学科における図書館との連携教育について」の中で図書館ガイダンスを開催しました。

ガイダンスは図書館ツアー、データベースとリメディアルムービーの紹介と演習を行い、参加した先生方から「わかりやすくなった」と好評でした。



月替わり図書館企画

9月の特集は

『諦めなかった人たちがいる 一夢をつかむものたち』と題して起業家を特集します。

会社法の改正などにより、起業に必要なコストや労力が大幅に低減され、数多くのベンチャー企業が誕生しました。

しかし、ただ起業するだけで成功するはずもなく、その道のりは多難にして遼遠。

形にならず芽も出ない、そんな状況で倒産していく新興企業もまた数多くあります。

起業するとはどういうことか、成功するとはどういうことか、良

い会社を経営していくということ、

勝ち残っていくとはどういうことか？

今回の特集ではそんな起業家たちの信念や語られる言葉にスポットを当ててみました。

一筋縄ではいかない起業家たちの至言やユニークな側面からは、きっと多くのことを学べることでしょう。



☆お知らせ☆

図書館の入館ゲートが新しくなりました

図書館の入館ゲートが変わりました。

従来のゲートが手前のスロットに挿入してから入館する方式だったのに対し、新しいゲートはゲート手前のスロットにカードをスライドさせてからゲートが開くようになっています。

◆ 手順 ◆

ゲート右手のスロットへ、写真のように磁気のある面を左手に向けてカードを入れます。



そのまま素早く手前へスライドさせます。



カードを読み込むとランプが黄色からグリーンに変わります。

ゲートが開いたのを確認してからお通りください。

慣れないうちは少し戸惑うかもしれませんが、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

ただいま和雑誌の利用調査を行っています

この調査は来年度の雑誌購入に反映されますので、お手数ですが雑誌を閲覧されましたら表紙に貼られている用紙にチェックをお願いいたします。

入館者数が過去最高人数を記録しました★

7月28日(火)の総入館者数が2,699名となり、1日あたりの来館数として過去最高を記録しました。

図書館員一同厚く御礼申し上げます。

これからも皆様に活用していただけるような図書館を目指しますのでよろしくお願いいたします。

今月のお勧め本

- **バート・マンロー** スピードの神に恋した男 / ジョージ・ベッグ著・岡山徹 中俣真知子 池谷律代訳
ランダムハウス講談社 2階開架 788.7//B32
- **ソロモンの指環・動物行動学入門** / コンラート・ローレンツ著・日高敏隆訳
早川書房 3階開架 481.78//L88
- **孟嘗君** / 宮城谷昌光著 講談社 1階文庫本コーナー 913.6//Mi73//1
- **物語 数学の歴史・正しさへの挑戦** / 加藤文元著 1階文庫本コーナー 410.2//Ka86
- **くすりの裏側 これ飲んで大丈夫?** / 堀越勇著 集英社 3階開架 499.1//H89